松前からはばたく

〜スポーツで輝く

松前の選手〜

「最後まで自分たちのプレーをしようと思った」

同部は、県代表として全国大会に挑んだ―。松山工業高校ソフトボール部主将を務めている。こう話すのは土居優人さん。

7回では決着がつかず、延長戦でタイブレーク突入。和歌山県代表の箕島高校との初戦。

応援していた保護者も感じた。3点を先制され、窮地に追い込まれた選手たち―。

「もう、だめかもしれない」

でも、選手たちの心は折れていなかった―。

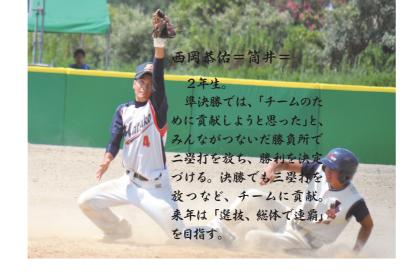
初戦で大きな勝利を勝ち取った。「自分たちのプレー」をやり抜いた彼らは、最後まで、みんなでつないで4点をもぎ取り、

並み居る強豪を打ち崩し、快進撃を続ける。これで勢いづいた彼らは、

そして、ついに決勝の舞台に立つのである―。









たことを―。チームを引っ多くの松前出身の選手がい

だろうか?

その原動力に、

では、皆さんは知ってい





を胸に、山内新主将たちの戦験、そして、先輩たちの思いトを切った。全国大会での経 分たちのプレー」を忘れず、展開となった。それでも、「自 決勝の舞台。勢いのある両者 の対決となった。 見事優勝を果たし、好スタ い8月18日、県高校男子1 日々の厳しい練習で得た「粘 2年生大会が行われ、同部は て、全国制覇の栄光をつかん りのソフト」で力を出し切 試合は3点先制するも、 全国制覇の興奮も冷めな 勝利を勝ち取った。そし 再度突き放すも、

をで話していた高校だ。その りは果たせない―」と、みん は果たせない―」と、みん は果たせない―」と、みん

春の王者を破っての

が、全国の舞台で躍動した。

利をつかむ決勝打を放った選 ランを放った選手、決勝で勝 張った主将、準決勝でホー

多くの松前出身の選手

勢初の全国制覇を達成した大会 (高校総体) で、愛媛県 部が、全国高等学校総合体育 松山工業高校ソフトボーいのではないだろうか?



天野滉樹=宗意原= 3年生。 2回戦では「自然 と体が動いた」とホー ムランを放ち、勝利 「今までしんどい練 習をしてきた。悔い はない」と、戦い切っ た満足そうな表情を

小池绅之助=简井= 2年生。代打として「流れを気に して打席に立った」。「試合が終わる まで自分たちのソフトをしたい」と、 今後に向けて決意を新たにする。







引きつけてからのパスで得点し て攻め、コート外の選手も声を と同カードとなった決勝でも、 接戦となった準決勝、県大会 痛くなかった」と、早瀬副主将。 痛みがあったけど、それ以降は 部が、県中学校総合体育大会で 樹主将。松前中学校バスケット るが、個人技で攻めて相手を 同部。個人の能力が高いのもあ の中村響さんが中心だという 優勝という栄光をつかんだ。 て、チームみんなで、四国大会 クシデントも起きたが「初戦は 介副主将がろっ骨を負傷するア 全国大会への切符を手にした。 会で県大会初優勝を果たした同 上げて声援を送り続けた。そし 合体育大会でも初優勝を飾り、 も優勝。さらに、四国中学校総 心的存在だ。 東浦主将、早瀬副主将、6番 四国大会では、初戦で早瀬陽 そう力強く話すのは、東浦元 昨年、県中学校新人体育大 ール部を引っ張るチームの中 ト内の選手はみんなで守っ ム力」が優勝の要因 早瀬陽介=宗意原=

ライフル射撃

浦主将。「決勝リーグに出場」と

からみんな仲が良い」と話す東

「昨年より楽しめた。これから という本大会。入賞は逃すも という覚悟を持って挑んだ」

も続けようと考えている」と

笑顔で話す。

そして、この大会を機に世

2013-9 💠 広報 まさき

ム力で優勝できた。普段

いう目標を掲げ、チーム一丸と

なって、全国に挑む。

抑えたりするなど、チー

ームワ

クの良さも勝利の大きな要因。

ンディフェンスで相手の攻撃を

たり、相互の連携が必要なゾ

部。7月には、全国高等学校

伊予農業高校ライフル射撃

身の輝く選手の姿があったー に出場した同校にも、松前出 ライフル射撃競技選手権大会

3年生の湊裕昭さん。「最後

だった。 世界大会で3位のタイの選手 順当に決勝まで勝ち上がる松 格と鍛え抜かれた技を武器に、 に朗報が飛び込む。優勝者は、 打ちひしがれる松本さん。そこ に終わった。悔しい気持ちで、 したが、健闘及ばず判定負け り返し、延長戦へ。死力を尽く 本さん。決勝の相手は、前回の 一心で単身沖縄に乗り込んだ。 の強さを試してみたい―」その ことを聞いた松本さん。「自分 大会への代表権が与えられる 勝者は、タイで開催される世界 手道選手権大会。同大会の優 試合は、一進一退の攻防を繰 186センチの恵まれた体

東浦元樹=南黒田

空手家の松本さんは、日本を代

イにいた―。 松前を代表する

広報 まさき * 2013-9 6

表する空手家でもある。

5月に開催された全沖縄空

その拳で世界をつかむためタ

8月11日、松本芳典さんは、







翔

次に、彼らのようにはばたくのは…

を探そうかな」と思った人はたちのように打ち込めるもの張ってみよう」「何かこの子

せるはずです。たとえ、それあれば、あなたも前に踏み出いませんか?





なたもまばたパでみませんか?で、それを胸に努力を重ね、あ意味があります。思いをつない広い社会に出て行く」というでしょうか。

ました。
な善して、さらに上を目指そいません。課題を見つけ、もかかわらず、現状に満足しらしい戦績を残しているにいません。課題を見つけ、ながかわらず、現状に満足しらしい戦績を残しているによった。

伝わる気持ち つながる思い

彼らの姿を見ていると、いつしか、 それまで抱かなかった気持ちが生まれます。 「すごい」「自分たちも…」 これらは、新たなはばたきの芽。 松前からはばたく彼らの思いは、 いつしか周りの人に受け継がれていき、 受け継いだ彼らもまた、 はばたいていくことでしょう。



後輩が思い、感じていること



松前中学校男子バスケットボール部1年 坂上航太さん=新立= 宮﨑翔さん=宗意原= 西村勝也さん=北黒田= (写真左から)

「先輩たちは、迫力があってすごい。スピードも速くて」と話す3人。まだ、自分たちの代は先のことで、「そのときのことは考えられない」。それでも、全国にはばたく先輩の姿を見て、一緒に練習をしながら、彼らは、自分たちの思いを育てていく。



松山工業高等学校男子ソフトボール部1年 脇長丈さん=徳丸= 上田郁也さん=西高柳= (写真左から)

「ワンプレー、ワンプレーに全力で、闘志を感じる」と、先輩たちの姿を話すのは上田さん。全国大会でピンチランナーとしてベースに立ったときは「緊張したけれど、楽しかった」と話す脇長さんとともに「再びあの場所に戻ってきて、プレーをすること。そして、先輩たちの分まで頑張って連覇をすること」を目標にして、2人は走り始める。

9 2013-9 ❖ 広報 まさき